

転倒・頭を打った



お子さんの次の症状を観察し、医療機関受診の参考にしてください。

- 意識がない
- 出血が止まらない
- けいれんを起こしている
- くり返し吐く
- 頭の打った所がへこんだ
- 瞳孔の大きさが左右で違う

1つ以上
あてはまる

あてはまる
症状はない

- すぐに泣かず、泣くまで数十秒かかった
- 顔色が悪く、吐き気がある
- 出血がある
- 腫れたところがブヨブヨしている

1つ以上
あてはまる

あてはまる
症状はない

救急車を
呼ぶ

救急医療機関を受診しましょう



しばらく家で様子を見てみましょう
ただし、症状が悪化した場合、変わらず続く場合は医療機関を受診しましょう

予防と応急処置

●子どものけがや転倒の予防

子どもは、大人に比べて頭が大きく、重心が高いので転びやすく、転んだときに頭を打つことが多くなります。また、成長に従って行動範囲が広くなり、できなかったことができるようになるなど、けがや転倒などの原因も変化していきます。

けがの予防のためには、まずは安全な環境を整えることが必要です。本ガイドブックのP30.31「ストップ!! 子どもの事故」を参考に、身の回りの環境を一度確認してみてください。また、お話がわかるお子さんには、普段から気をつけるように教えるなど、予防に努めることが大切です。

●けがをしたり、頭を打ったときは

出血があった場合は、乾いた清潔なタオルやガーゼなどを当てて強く圧迫します。出血したところが汚れているときは、水道水で洗い、その後圧迫しましょう。

大きく深い傷で出血が止まらなかったり、傷口がギザギザしている、傷口に砂が入り込んだ、動物に噛まれた傷の場合は、医療機関で診察を受けましょう。

頭を打った後は、時間の経過とともに症状が現れることもあります。24～48時間は子どもの様子を観察し、普段と変わった様子がないか気をつけ、気になる症状がある場合は、診察を受けましょう。